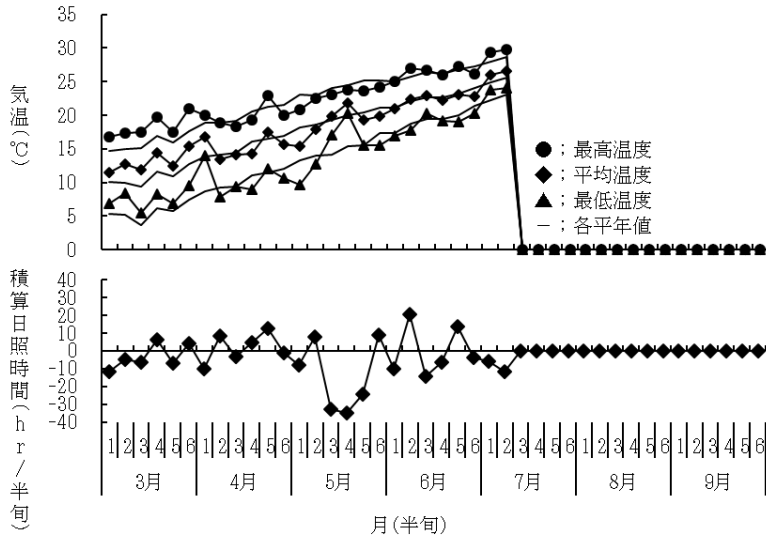


令和3年度における早期水稻の生育状況 (7月10日まで)

農業技術センターでは、毎年同じ耕種条件（移植日：4月6日、4月14日）で栽培し、生育・収量を平年値と比較し生育診断する気象感応試験を実施しています。

前回（5月29日）に続き、早期栽培の‘南国そだち’、‘よさ恋美人’、‘コシヒカリ’の生育と出穂期をお知らせします。加えて、今回からは普通期栽培の‘ヒノヒカリ’の生育状況も合わせて報告します。

5月25日から7月10日までの気象条件



気温は、6月1ヶ月間を通して低く、6月第3半句を除いて最低気温が低く推移しました。7月第1半句以降は平年に比べ高く推移しました。

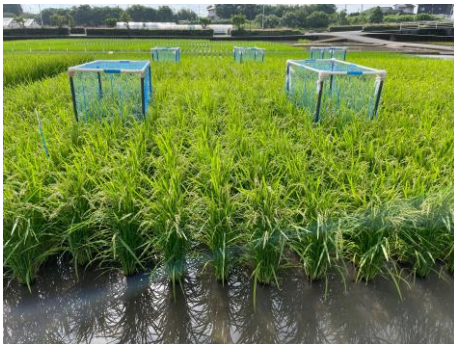
日照時間は、6月第1半句以降、少照と多照の繰り返しがあるものの、積算値は平年並みでした。一方、7月第1半句以降は、平年に比べ少照でした。

図1 水稻生育期間中の気象経過(気温、日照時間)

注) AMeDAS(南国市後免)の観測値。

日照時間は平年差。平年値は過去10カ年の平均値。

7月3日時点の生育状況



4月6日植え‘南国そだち’(撮影日：7月3日)



4月6日植え‘よさ恋美人’(撮影日：7月3日)



4月6日植え‘コシヒカリ’(撮影日：7月3日)



4月14日植え‘コシヒカリ’(撮影日：7月3日)

4月6日移植苗は、移植直後からの低温と移植1ヶ月後からの少照により生育の停滞が見られましたが、その後回復しました。

各品種の各最高分げつ期の生育状況と出穂期は以下のとおりです。

◆最高分げつ期

品 種		時期 (月/日)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)
‘南国そだち’ (4月6日植え)	前年	5/29	57.1	646
	平年値	6/ 1	57.4	608
	令3年	6/ 3	60.0	592
‘よさ恋美人’ (4月6日植え)	前年	6/ 7	61.1	527
	平年値	—	—	—
	令3年	6/ 3	58.2	457
‘コシヒカリ’ (4月6日植え)	前年	6/ 8	62.0	697
	平年値	6/ 1	55.7	532
	令3年	6/ 3	59.1	542
‘コシヒカリ’ (4月14日植え)	前年	6/ 8	59.7	558
	平年値	6/ 3	53.8	609
	令3年	6/ 3	57.8	548

最高分げつ期は、4月6日植え‘南国そだち’と4月6日植え‘コシヒカリ’では平年より2日遅く、4月14日植えの‘コシヒカリ’では平年並でした。茎数は、4月6日植え‘南国そだち’と4月6日植え‘コシヒカリ’では平年並で、4月14日植え‘コシヒカリ’では平年より少なくなりました。

◆出穂期

品 種	R3年	平年値	前年
‘南国そだち’ (4月6日植え)	6/21 (平年差+2日)	6/19	6/19
‘よさ恋美人’ (4月6日植え)	6/29 (平年値なし)	—	6/25
‘コシヒカリ’ (4月6日植え)	7/5 (平年差+4日)	7/1	7/2
‘コシヒカリ’ (4月14日植え)	7/7 (平年差+3日)	7/4	7/3

出穂期は、4月6日植えの‘南国そだち’は平年より2日遅れ、‘よさ恋美人’は前年より4日遅れています。コシヒカリでは4月6日植えで平年に比べ4日、4月14日植えで3日遅れています。

普通期栽培7月3日時点の生育状況

‘ヒノヒカリ’を6月3日に移植しました。



6月3日植え‘ヒノヒカリ’（撮影日：7月3日）

7月3日時点での生育状況は以下のとおりです。

6月3日植え ‘ヒノヒカリ’ 稚苗

調査日		6月3日	6月18日	6月24日	7月1日
移植日からの日数		0	15	21	28
草丈 (cm)	前年	11.4	24.7	26.0	35.1
	平年値	12.4	23.6	30.1	40.2
	令3年	13.8	27.7	32.4	44.0
茎数 (本/㎡)	前年	83	107	303	361
	平年値	83	149	288	365
	令3年	83	255	453	634
葉齢 (齢)	前年	2.4	5.5	7.6	8.7
	平年値	2.4	5.4	7.1	8.3
	令3年	2.2	5.1	6.3	7.7

注) 平年値は過去10カ年の平均値。

普通期栽培の生育経過については、6月第1半旬以降、最低気温が低く、茎数が多いものの、生育進度(葉齢)は遅れています。